



平成 25 年 10 月 30 日

各 位

会社名 武蔵精密工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 大塚浩史
(コード番号 7220 東証・名証第一部)
問合せ先 経営企画室長 前田 大
(TEL. 0532-25-8111)

2014-16 年度 第 12 次中期方針について

当社の第 11 次中期（2011-13 年度、以下 11 中）では、世界で自主自立して継続的に成長できる「真の」グローバル企業への飛躍を目指し、世界に先駆ける技術・商品の開発や、グループの総合力を最大化するグローバルオペレーション機能の強化等に取り組んできました。

グローバルの自動車市場は、2 輪・4 輪共に今後も拡大が見込まれていますが、先行き不透明な経済情勢の中、自動車の機構変化や新興国部品メーカーの台頭などにより、当社はますます激化する競争の中にあります。当社では、変化する事業環境に適応して生き残り、「世界のお客様に信頼されるムサシブランド商品の創造と提供」を目指すムサシ・グローバル・ビジョン 2020 を具現化するため、当社の基本構造を未来志向で“変える”ことに重点をおき、第 12 次中期（以下 12 中）の経営方針を策定しました。

12 中経営方針の概要は以下の通りです。

1. 12 中の決意

【 DIG-Change 】

MS-Innovation で未来への基盤を創る

～ 共に未来を描き、カタチにし、喜びを分かち合おう ～

「MS-Innovation」は、「Musashi Structure・System・Smile-Innovation」を表し、当社の事業における「事業構造」、「しくみ」、「人」の 3 領域について、戦略的に改革していくことを示しています。

2. 12 中グループ経営方針

- **Structure（事業）：**
“ものづくり”の探究で商品競争力を強化し、世界で最適・最強の事業構造を目指す。
- **System（しくみ）：**
グループ総合力を最大化するしくみを構築し、グローバル最適オペレーションを目指す。
- **Smile（人）：**
世界のムサシマンを育てるしくみ、活かすマネジメントで、フィロソフィーで繋がる
“One Musashi”を目指す。

3. 戦略テーマ

全社横断的に取り組むべき課題の明確化と、確実な成果の創出を目的として、グループ経営方針に基づき下記の 6 テーマを「戦略テーマ」と位置づけ、重点的に推進していきます。

- **コア戦略テーマ**
 - 次世代ムサシブランドの創出
 - グローバルプラットフォームの構築
 - グローバル人財活用の基盤構築

・グローバル戦略テーマ

- 2R 事業の再構築
- 4R 事業の再構築
- M-FLO（注 1）・M-QCD（注 2）の融合と進化

（注 1）当社の受注展開から量産立上に至る一連の業務フローを標準化したしくみ。

（注 2）当社の生産拠点の体質を品質システム、生産システム、工程管理の 3 領域から評価・改善するしくみ。

4. 連結経営目標

当社は、12 中方針に沿った施策展開により、2016 年度末までに 1,700 億円規模の連結売上高と、営業利益率 8%を両立できる生産体制・体質を目指します。さらに、12 中を通過点として、2020 年には、ムサシ・グローバル・ビジョン 2020 を具体化するための指標として、2,000 億円規模の連結売上高と 10%の営業利益率を目指します。

（参考）2013 年度連結業績の見通し

- 売上高：1,450 億円
- 営業利益率：5.8%

（ご参考）ムサシ・グローバル・ビジョン 2020

（2007 年 11 月 6 日リリース）

Be Unique!! ～ユニークで行こう～

「それ、おもしろそう！」をカタチに、世界に信頼されるムサシブランド商品を創造、提供します。

キーワード：Differentiation(創違)・Integration(融合)・Growth(成長)

【ユニークの意味】

ムサシ流 “Unique” とは、違いを創造し融合して成長すること。

「独創への挑戦という姿勢を貫いたから今日がある」という歴史の振り返りと将来のありたい姿から、今後もムサシ流の独創性 (= ユニーク) を探究し続けることが発展への道だと考えております。

以上

このニュースリリースにおける将来予測に関する情報は、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づいています。そのため、実際の結果と大きく異なることや、予告なしに変更される可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
